

# 信仰のために戦っている

チューリッヒ スイス

1955年6月20日

1 こんにちは、皆さん。

今夜も主イエスのお名前によって、ここに集えたことを心から感謝します。

きっと主は、今夜この集まりに豊かな祝福を与えてくださることでしょう。

それでは今から、今夜の聖書朗読に移りましょう。

どうぞ、兄弟が聖書をお読みください。

今夜のテキストは――

ユダの手紙・3節です。

(【※通訳者が朗読します】)

愛する者たちよ。わたしはあなたがたと共に、共通の救いについて書こうと大いに努めていたが、

聖徒たちに一度きり伝えられた信仰のために戦うようにと、あなたがたを勧めることが、どうしても必要に思えてきた。

今夜のメッセージの主題は、まさにこの一節――

「一度きり聖徒たちに伝えられた信仰のために戦うこと」です。

これは実に印象深い聖句です。

なぜなら、ペンテコステからわずか33年後の出来事だったからです。

にもかかわらず、もうすでに“**信仰の脱落**”が始まっていたのです。

だからこそ、信仰を守り抜くように――

「戦え」と勧められていたのです。

2 さて、今夜のメッセージに入る前に、いくつかお伝えしておきたいことがあります。

まず、私は自分を癒し主(ヒーラー)だとは決して申しません。

私はただ、皆さんと同じキリストにある兄弟にすぎません。

そして私は、お医者さんや病院、薬を否定する者ではありません。

むしろ、それらは神が私たちに与えてくださった尊い賜物だと信じています。

神は科学者たちを通して、多くの素晴らしいものを私たちに与えてくださいました。

自動車や飛行機、よりよい衣服、そのほかたくさんのもので。

そういった恵みに、私は心から感謝しています。

私は医者の代わりになる者ではありません。

むしろ私は医師たちのために祈っています。

彼らが、神の苦しむ子どもたちをより助けることができるようにと。

ですが——医者にもどうすることもできない時があります。

そういう時こそ、私たちにはイエス様のもとへ行く権利があるのです。

そして私は信じています——主は今も癒してくださいと。

この十年間の働きの中で、私は数えきれないほどの癒しを目の

当たりにはしてきました。

盲目の人、足が不自由な人、身体のねじれた人、歩けなかった人たちが

癒されたのをこの目で見てきました。

そして何より、死んだと宣告された人が三人、主によって

甦ったのを見たのです。

そのうち二人はアメリカで、もう一人はフィンランドのヘルシンキで。

きっと皆さんも、あの出来事のことをお聞きになったでしょう。

あの奇跡は、世界中に知れ渡ったのです。

### 3 主イエスは今も変わらぬお方です。

皆さんも、イエス様が地上での御働きの中で死人を三人だけ

甦らせたことに気づかれたでしょう。

ヤイロの娘、ナインの町のやもめの息子、そしてラザロ。

三という数は完全な証を意味します。

もちろん、主はもっと多くを行うこともおできになりました——

けれど、それは父なる神が示されたときにだけなされました。

さあ、私たちは今、主に対して敬虔な心をもってこの時を迎えましょう。

そして正しい態度で主イエスに近づくのです。

なぜなら——

あなたが神の賜物にどんな態度で臨むかが、その結果を決めるのです。

あの、主の衣に触れた女は、力を感じました。

信仰によって、近づいたからです。

しかし一方で——

主の目と顔に布をかぶせ、「お前は預言者だというが、誰が叩いたか

言ってみろ。そうすれば信じてやろう」と嘲った男は、

何の力も受けなかったのです。

近づき方——それが全てです。

ここにも今夜、キリストの外にあって希望を失っている人たちが

横たわっています。

けれど——キリストにあっては、

この集会が終わるときには、信仰を持った人々が、自分の寝床を持って立ち上がり、癒されて帰って行くのです。

あなたはこれを信じますか？

主があなたを祝福してくださいますように。

- 4 では、しばらくの間、今夜の御言葉の箇所に目を向けましょう。

ユダの書ではこう書かれています。

「一度きり聖徒たちに伝えられた信仰のために、熱心に戦いなさい」と。

ここで注目すべきは、「ある信仰(a faith)」ではなく、

「その信仰(the faith)」と記されていることです。

私たち誰もが、自分の教会こそがその信仰を持っていると信じたいものです。

私も、皆さんの教会がそうであるように願っています。

しかし——

私たちは、自分たちの考えではなく、聖書によって吟味しなければなりません。

本当に、私たちの教会は“その信仰”のために戦っているのでしょうか？

カトリック教会も「自分たちこそがその信仰を持っている」と言います。

ルター派も、バプテストも、長老派も、ペンテコステ派も、ナザレ派も……

皆が「我々こそが持っている」と主張しています。

でも、公平なやり方はただ一つしかありません。

——最初に戻って、それがどんな信仰だったかを見ることです。

これが公正な方法だと思う方、手を挙げてください。

……ありがとうございます。

- 5 「一度きり聖徒たちに伝えられた信仰のために、熱心に戦いなさい」とありますね。

では、聖徒たちが最初に始めたところへ戻ってみましょう。

そして、彼らに与えられた信仰と、私たちの信仰を比較してみましょう。

もし私たちの信仰が彼らの信仰と同じであることがわかれば、

それこそが一度きり聖徒たちに与えられた信仰だと信じることができるでしょう。

これが、私の知る限りで最も公平な方法です。

なぜなら、こここそが、信仰が憩うべき神の定められた場所だからです。

信仰が神の前で憩うことができる唯一の場所、それは神の御言葉の中です。

真の信仰は、教義や教派の中に安らぐことはできません。

信仰は、ただ神の御言葉の上にこそ立つのです。

6 では、その信仰が初めてこの世に紹介されたとき――

つまり、私たちが熱心に戦うべき「その信仰」が世に現れた最初の時のことです。

バプテスマのヨハネが、その信仰を紹介しました。

彼はイエス様をこの世に紹介し、そしてイエス様ご自身が、その信仰を紹介されたのです。

ですから、私たちはイエス様がどんな信仰をこの世に紹介されたのかを見ていく必要があります。

それを知れば、私たちが話している「信仰」が何なのかが明らかになるはずです。

さて、イエス様はご自身が癒し主(ヒーラー)であるとは主張されませんでした。

もしイエス様がそう主張されなかったとすれば、どうして人間の誰かが癒し主だと名乗れるでしょうか？

イエス様が癒しの働きについて問われたとき、こうおっしゃいました：

「わたしがその業をしているのではない。

わたしの内におられる父なる神が、業をなさっておられるのだ。」

つまり、イエス様ご自身の力ではないということです。

イエス様の内におられた父なる神が、その働きをなさっておられたのです。

7 それでは、イエス様が実際にどのような御業をなさったのか、いくつか見てみましょう。

イエス様の公生涯の初め、ピリポという人が信仰に入れられました。

すると彼はまず、ナタナエルを探しに行きました。

彼を見つけたとき、ナタナエルは木の下で祈っていたのです。

ピリポはナタナエルに言いました：

「来てごらん。私が見つけたお方だ。ナザレのイエス、ヨセフの子だ。」

ナタナエルがイエス様のもとに来たとき、

イエス様は人々のために祈っておられました。

そしてナタナエルの姿をご覧になると、こうおっしゃったのです：

「見よ、偽りのない、まことのイスラエル人だ。」

その言葉に、ナタナエルは驚きました。

「どうしてこの方は、自分が信じる者だにご存じなのか？」

たとえば、私が今夜この場で誰かに向かって同じように言ったとします：

「あの方は誠実な方です。信じておられる。」

——そう言われたら、驚かれるでしょう。

ナタナエルはこう聞き返しました：

「ラビ(先生)、どうして私のことをご存じなのですか？」

するとイエス様は答えられました：

「ピリポがあなたを呼びに行く前から、  
あなたが木の下にいたとき、わたしはあなたを見ていた。」

8 するとナタナエルは言いました。

「ラビ(先生)、あなたこそ神の子、イスラエルの王です。」

それに対してイエス様はこうおっしゃいました。

「わたしがあなたを木の下で見たと言ったから信じたのか？」

あなたはもっと大きなことを見ることになる。」

——さあ、もし現代で誰かがこういうことを言ったとしたら、周りの人たちはどう反応するでしょう？

きっと、「そんなの信じられるか」と言われるでしょうね。

でも、みなさん、あの聖書の箇所を読んだことはありますか？

この話、聖書の中にちゃんと書いてあるんです。

ええ、そうです。これはまさに、聖書のことばです。

さて、私はと思いますが、ペテロはイエス様がどういうお方であったかを教会に対してとてもはっきりと説明しました。

彼はこう言いました：

「イスラエルの皆さん、

あなたがたの間で神によって認められた人、

ナザレのイエスこそ、

しるしと不思議によってあなたがたの前に現された方です。」

つまり、神ご自身が、イエス様のうちにあることを、

“しるし”と“奇跡”を通して証明なさった、というわけです。

9 そして私はこうも思います。

ニコデモもまた、当時の大きな儀式的な教会がイエス様について  
どう考えていたかを、明確に語っているのです。

よく見てください。

あれは年老いた教師、知恵ある長老が、まだ若い青年のところへ  
やって来たという場面です。

つまり、学識を持った者が、地上の教育も学位も持っていない方の

もとに来たのです。

そしてニコデモは…

彼は正統派ユダヤ教会を代表して、こう言いました。

「ラビ(先生)、私たちは、あなたが神から来た教師であると知っています。」

何と言いましたか?「私たちは知っています」と。

誰が知っているのでしょうか?—ユダヤ人たちです。

皆が知っていたのです。

でも—受け入れることはできませんでした。

なぜなら、彼らの教会が、「あの方を受け入れたら、会堂から追い出す」

と言っていたからです。

ニコデモは続けます。

「神が共におられなければ、あなたがなさっているようなことを行うことは誰にもできません。」

さあ、見てください。

イエス様はご自身で何かをしたとは主張なさいませんでした。

「すべては父なる神が、わたしのうちにおいてなさっているのだ」

とおっしゃったのです。

…ある時、ある女性が—(ここでテープに空白があります)

10 「この方は聖なるお方だ。だから、もし私がこの方に触れることができれば、きっと癒されるに違いない。」

そう思ったその女性は、イエス様にそっと触れました。

そして群衆の中に紛れ込んでいきました。

多くの人々がイエス様のまわりにおいて、腕を回したり、触れたりしていました。

するとイエス様は言われました。

「わたしに触れたのは誰か?」

それを聞いてペテロは言いました。

「主よ、みんながあなたに触れていますよ。」

でも、それは「違う種類の触れ方」だったのです。

イエス様はこうおっしゃいました。

「わたしから徳(力)が出ていったのを感じた。」

それから彼は辺りを見回し、その女性を見つけました。

そしてこう言われました。

「あなたの信仰があなたを癒した。」

それが「昨日のイエス様」です。

それが「今日のイエス様」です。

そしてそれが「これから永遠に変わらないイエス様」なのです。

11 さて、町でも田舎でも多くの人がこう言います。

「この人を癒してくれるのを見せてくれたら信じよう。」と。

でも、もしイエス様が今この地上におられたとしても、

そうすることはできなかったのです。

イエス様がご自分の故郷に行かれた時、

聖書にはこう書かれています。

「彼らの不信仰のために、そこでは多くの奇跡をなさることができなかった。」

ヨハネの福音書5章では、イエス様がベテスダの池に行かれました。

聖書にはこうあります。

「そこには多くの病人たち、目の見えない人、足の不自由な人、やせ衰えた人々が横たわっていて、水が動くのを待っていた。」

なぜなら、ある季節になると御使いが池に降りて水をかき乱すのです。

そして最初に信仰をもって水に入った人が、どんな病気でも癒されるからです。

ここをよく聞いてください。

その群衆の中を、イエス様が通って行かれました。

足の不自由な人々のそばを通り過ぎ、

大きな水頭症の赤ちゃんを抱えた母親のそばを通り過ぎ、

リウマチで動けなくなった貧しいお父さんのそばを通り過ぎていられました。

イエス様は神ご自身であったのに、

なぜ彼らを癒されなかったのでしょうか？

12 イエス様はその群衆の中をまっすぐ通り抜けて、

一人の男のところに行かれました。

その男は寝床の上に横たわっていました。

イエス様は彼がそこに長く横たわっていたことをご存じでした。

その病気は命に関わるものではありませんでした。

彼は28年も病気を患っていました。

それはおそらく慢性的なもので、

結核だったかもしれませんし、

前立腺の病気だったかもしれません。

彼は全く動けないわけではありませんでした。

自分で歩くことはできたのです。

彼はこう言いました。

「私が池に行こうとすると、他の人が先に降りて行ってしまうのです。」

するとイエス様は言われました。

「あなたの床を取り上げて、家に帰りなさい。」

するとその人はすぐに床を取り上げて、家へ向かいました。

さて、教会の皆さん、

ここをよく聞いてください。

今晚のあなたの立ち位置を決めるような大事な話です。

この後、ユダヤ人たちは、

その男が寝床を担いでいるのを見つけて、イエス様に質問しました。

もし今夜、イエス様がこの集まりに来られて、

一人の結核患者を癒され、

他のストレッチャーに横たわっている人たちを通り過ぎてしまったら、

明日、批判者たちは何と言うでしょうか？

「見る、何の意味もないじゃないか。」

イエス様は当時、それと同じことをされました。

何千人も横たわっていたその場所で、

ただ一人だけを癒されたのです。

それで、彼らはイエス様を問い詰めたのです。

ここで注意深く聞いてください。

ヨハネの福音書5章19節、

イエス・キリストがこの件についてこうおっしゃいました。

これは、イエス様が人々に示された信仰の姿です。

今からイエス様の言葉を引用します。

「まことに、まことに、あなたがたに言います。

子は、自分からは何もすることができません。

父がしておられることを見て、それをそのまま行うのです。」

13 つまり、神がイエスに「何をすべきか」を幻によって示されたので、イエスはそのとおりに行われたのです。わかりますか？いかなる肉なる者も、神の御前で自らの栄光を誇ることはできません。すべては霊的な領域でのことなのです。神の御子であるイエスさえも、「父が自分に見せてくださるまでは、誰も癒すことも、何かをすることもできない」と言われました。

このことをはっきり理解された方は、手を挙げてください。ありがとうございます。ただ皆さんが本当に

理解されているかを確認できなかったのです。

いつか、すべての言語が一つとなる日を見ることができたらと思います。その日は、イエスが戻られる時にやって来るでしょう。バベル(混乱)は忘れ去られるのです。

さて、皆さんは今理解できましたか？イエスが教会に示された信仰とは、好き勝手に誰かを癒すということではなく、「父が御子に示された者」に対して癒しを行う、というものであったのです。

14 さあ、よく聞いてください。

イエスは昇天される時、弟子たちにこう言われました。

「全世界に行って(それはチューリッヒも含まれます)、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。信じる者には、このようなしるしが伴う」と。

そしてそのしるしの一つは、「病人に手を置けば、病人は癒される」というものでした。

イエスはこうも言われました。「わたしがしているこれらのわざを…」

その「わざ」とは何でしょうか？それは、群衆の中を見渡し、人々の思いを見抜くことでした。

彼は、自分のもとに来た人々が、どこから来たのか、何をしてきたのかをご存知でした。

そしてこう言われました。「わたしがしているこれらのわざを、あなたがたも行うでしょう。なぜなら、わたしは…」

この「わたし」は、個人を指す代名詞です。「わたしはあなたがたとともにおり、いや、あなたがたのうちにおり、世の終わりまで共にいる」と。

「使徒たちの時代の終わり」ではなく、「この世界の終わり」まで、です。文明が終わる時まで。

聖書は言っています。「イエス・キリストは、昨日も今日も、そして永遠に変わらない」と。

これを信じるなら、「アーメン」と言ってください。

イエスは死からよみがえられました。

そして使徒たちに言われたのです(よく聞いてください)。

「しばらくすると、この世(つまり不信仰な世界)はもうわたしを見ることはない。だが、あなたがたはわたしを見る。わたしはあなたがたとともにおり、あなたがたのうちにおり、世の終わりまで共にいるのだから。」

15 あなたが信じる者であるなら、あなたにもできます。

イエスはあの時と同じく、今日も変わりません。

けれども、もしあなたが信じない者であるなら、パリサイ人たちのようにそれを退け、彼らのように立ち去ってしまうでしょう。

でも今夜、彼らがいる場所に行きたいと思う人などいないでしょう？

むしろ、イエスを愛した人たちの側に立ちたいと思うはずです。

これこそが、イエスがこの世界に示された「信仰」なのです。

少しだけ、心を静めてください。

そしてイエスはこの信仰を弟子たちに託し、弟子たちがまた次の者へと伝え、そしてそれが世の終わりまで続くようにされたのです。

ある夜、使徒ペテロが牢に入れられていたとき、神は御使いを遣わし、

彼を解き放たれました。

また、ペテロが家の屋上にいたとき(使徒の働き10章)、彼は幻の中で異邦人のもとへ行かなければならないことを示されました。

それは、イエスが持つておられたのと同じ信仰によるものでした。

また、サウロ(後のパウロ)がタルソへ向かう途中、神はそこにアナニヤという人を備えておられました。

アナニヤは幻の中でパウロを見て、まっすぐという名の通りにある通りに行き、パウロに手を置きました。

そして後に、パウロが船に乗っていたとき、その船が浸水して沈みそうになったときも、

彼は船底の食料庫に入り、幻の中で「あなたは助かる」との啓示を受けたのです。

16 これこそが、彼らが持っていた信仰です。

では皆さん、もし今夜イエスがこの会衆の中に現れ、かつて地上でなされたのと同じことを今もなさるなら、

あなたはイエスを主として受け入れますか？

そうするつもりですか？

そのつもりのある方は手を挙げてください。

——神があなたを祝福されますように。はい、ありがとうございます。

これは、人間が口にするには非常に重大な宣言です。

しかし、あなた方の多くは、世界中に広まっている書籍や

「リーダーズ・ダイジェスト」などの雑誌を通して、

主がこれらのことをなさってきた証をすでに目にしておられるでしょう。

今夜、私は神のご奉仕のために謙虚に自分自身をささげます。

最後に、こう申し上げておきたいと思います。

私はただの人間であり、あなたの兄弟です。

ですから、あなたには私の言葉を疑う権利があります。

誰かがここに来て、どんなことでも言えるのですから。

あなたがそれを信じないというのは当然の権利です。

しかし、もし神ご自身が語られ、「この人は正しい」と言われるなら、

それでもなお信じないことは——それは「罪」となります。

そうではありませんか？

17 頭を垂れて祈りましょう。

今この時、完全な敬虔の態度をお願い致します。

聖書をご存じの方なら分かるでしょう——これは教会ごっこではありません。

私たちは今、悪霊を相手にしているのです。

一回の礼拝ですべてを説明することはできませんが、どうか私の言葉に耳を傾けてください。

今は礼拝中ですから、席を立ったり動いたりしないでください。

この後ろにいる男性たちは、私を見守ってくれています。

なぜなら、私はビジョン(幻)の中に入るからです。

そのうちのたった一つでさえ、命を削るほどの力があります。

預言者ダニエルは、ただ一つの幻を見ただけで、頭が悩まされ何日も苦しみました。

主イエスでさえ、力が出ていくのを感じられたのです。

それなら、ただの罪人であって、恵みによって救われた私にとってはどうでしょうか？

ですから、どうか席をお立ちにならないでください。

時に、悪霊が叫び声を上げたり、壇上で大きな現れ方をすることがあります。

そのような時は、特に敬虔な態度でいてください。

というのも、それが一人から去るとき、もしその場に不信者がいるなら、次の人に入っていきからず。

ですから、どうか静かにして、祈りのうちにいてください。

祈りましょう。

18 天の父なる神様、

どうかあなたの祝福が、あなたの御言葉の上に、あなたのしもべの上に、そしてあなたの民の上にとどまりますように。

主よ、あなたはご存じです——私はここにいる誰一人として知りません。

私は彼らの言葉さえ話すことができません。

しかし、あなたはすべてをご存じです。

あなたは彼らの心をご存じです。

ああ、偉大なる神よ、あなたの御子イエスの御名によって、

どうか今一度、このことをお許してください。

あなたの御霊が、あなたのしもべに臨みますように。

そうすれば、人々はあなたが死んだキリストではなく、  
死人の中からよみがえられたお方であることを知るでしょう。  
あなたは昔と変わらぬ、今も生きて働かれるお方です。  
永遠の神よ、これらの祝福を、あなたの御子イエスの御名  
によってお与えください。  
アーメン。

- 19 では、これから祈りの列(祈祷ライン)を呼びます。  
みなさん、小さなカードをお持ちですね。こういう感じのものです。  
ご自分のカードを見てください。そこには番号とアルファベットが書かれています。  
では、「祈りのカード番号1」をお持ちの方はどなたですか？  
手を挙げてください。  
番号1のカードを持っている方、手を挙げてください。  
あちらの方ですね？よろしい。  
その女性の方、こちらにお越しください。  
祈りのカード番号1の方、どうぞこちらへ。  
私の息子とファンドラー兄弟が祈りの列の方へ行ってくださいますか。  
はい、それでは。
- 20 番号1番、呼びましたね。では、番号2番をお持ちの方は？  
こちらの女性ですか？はい、列はこちらで作っています。  
でも、カードを持っていない方は、私が呼ぶまで決して立ち上がらないでください。  
祈りのカード「番号3番」の方は？どなたですか？手を挙げてください……  
こちらにお越しください。  
「番号4番」の方は？  
「番号5番」の方？手を挙げてください。  
祈りのカード番号5番をお持ちの方は？  
隣の人を見てみてください。もしかしたら耳が聞こえない方かもしれません。  
手を挙げられない方もいるかもしれません。カードを見せ合って確認してください。  
番号5番の方、手を挙げてください。  
……彼女はおそらく耳が不自由なのかもしれません。  
「番号6番」をお持ちの方？6番？はい。  
「番号7番」は？手を挙げてください。どうぞ。  
「番号8番」？8番の方？  
「番号9番」は？祈りのカード番号9番の方は？

その方が歩けない場合は、座ったままで構いません。

私はそちらへ行って祈りますから。

番号が呼ばれたら、係員がその人のところへ行って、手を挙げさせてくれます。

「番号10番」の方？祈りのカード番号10番の方、手を挙げてください。

「番号11番」？11番の方？手を挙げてください。

[不明瞭な部分]

「番号12番」？

「13番」？

「14番」の方は？

順番を逃してしまうと、もう新しいカードはお渡しできません。

祈ってもらいたい人がたくさんいるからです。

「番号15番」をお持ちの方？手を挙げてください。

「番号16番」の方？

……では、ここでいったん止めましょう。

(もう少ししっかり呼んであげてください。

皆さんが反応してくれないと、こちらにもものすごく負担がかかるんです。)

21 では、この中で祈りのカードを持っていない方で、イエス様に癒してほしいと願っておられる方はどれくらいいらっしゃいますか？

私はあなたに挑戦するような言葉でこれをお尋ねします。

こちらを見てください。

私が主イエスを代表していると信じてください。

そうすれば、神が私に語りかけたり、主の御使いがあちらへ行って、あなたに伝えるべきことを私に教えてくださるでしょう。

それは、イエス様がなされたことと同じでしょうか？

そう思われる方は、手を挙げてください。

(なんですって？ビリー、ひとり抜けてるのか？)

祈りのカード5番が見つかりません。

祈りのカード5番を持っている方はいらっしゃいますか？

その方は耳が聞こえないのかもしれませんが。ビリーには伝わらなかったのかもしれない。

5番は？(ドイツ語で呼びかけてください。持ってますか？フランス語で呼びかけてください。誰かフランス語話せますか？もしかしたらフランス語かもしれません。)

なんですって？祈りのカード…(何だった？彼らを呼んでくれますか？)

他の人たちは皆、今のところ並んでいますか？

よろしい。

22 頭を垂れましょう。ここから先はもう動かないでください。

心を敬虔に保ちましょう。

親愛なる主よ、

あなたのへりくだったしもべの祈りをお聞きください。

これは大きな瞬間です、父なる神よ。

もしかすると、これがスイスの転機となるかもしれません。

私は人々が私の声を聞くようにと祈っているのではありません。

しかし、あなた、聖なる父よ、

あなたのしもべの祈りに耳を傾けてください。

どうか今、聖霊が来て、

エマオから帰ってきた人々にされたのと同じ御業を行ってください。

彼は普通の人とは違うことをされました。

そして彼らは言いました、

「私たちの心は、道々語ってくださったとき、燃えていたではないか」。

どうか私たちも、今夜の礼拝のあとに、同じことが言えますように。

あるいは、普通の教会の礼拝とは少し違う何かをしてください、父よ。

それによって、人々があなたこそ神の御子であることを知ることができるよう。

天の父よ、私はあなたに喜びを覚えます。

そして今、語ってください。

あなたのしもべが真理を語ったことを、示してください。

あなたの御子、イエスの御名によってこれを願います。

アーメン。

23 これは、人間にはできないことです。

そして今、私の立場をご理解くださるクリスチャンの方々もいらっしやると思います。

私は、あなたがたの主であり救い主であられるイエス・キリストを代表して立っています。

心を敬虔に保ち、もし主があなたをお呼びになることがあれば、応えられる準備をしてみてください。

(さあ、私の声にすぐ耳を傾けてください。)

今、私の前に一人の女性が立っています。

私は彼女をこれまでの人生で一度も見たことがありません。

私たちはお互い、まったくの他人です。

私たちが他人であるなら、その証として彼女は手を挙げてくださいますか？

私は彼女のことを知りませんし、彼女も私を知りません。

私たちは何千キロも離れた場所で生まれた者同士です。

しかし、神は彼女を知っておられ、また私のこともご存知です。

この女性がここに来た理由があります。

私はそれを知りません。

私には知る術がありません——もしイエス様がそれを私に示してくださらなければ。

私はそのイエス様のしもべです。

そして私は、主が言われた通り、主がなされたことを、私も行えると信じています。

もし神が今ここに来られるなら……

この光景は、サマリアの女と主イエスとの再現そのものです——男と女が対面しています。

主イエスが彼女に何と言われたか覚えていますか？

「水をください」と話しかけられました。

そして彼女との会話を通して、彼女の霊をとらえられたのです。

イエス様は彼女の問題がどこにあるかを知るとすぐ、こう言われました。

「あなたの夫を呼んできなさい」——それが、彼女の問題だったのです。

24 すると彼女はイエスに言いました——

「主よ、私はあなたが預言者であると見受けます。」

そしてまた彼女は言いました——

「メシア、すなわちキリストと呼ばれる方が来られる時、その方は私たちにこのようなことを告げてくださると聞いております。

でも……あなたは一体どなたなのですか？預言者に違いありません。」

イエスはお答えになりました——

「わたしがその者、キリストである。」

では、これらのことは、まさにキリストのしるしではなかったでしょうか？

女自身が言いました——

「メシアが来られる時、その方はこのようなことをなさる。」

イエスは——今もなお、同じ方です。

25 今、私はその女性を見なければなりません。神の栄光のために、神の言葉のために、そしてイエス・キリストの名において、私はすべての人を私の支配下に置きます。主が彼の祝福を加えてくださいますように。

その女性とちょっと話をしたいと思います。それは非常に難しいことです。なぜなら、私が彼女と話すとき、通訳者は私の声を聞き取らなければならないからです。女性は何かが起こっていることを非常に意識しています。彼女はクリスチャンなので、兄以外の何かの前にいることを知っています。そして、彼女は喉のトラブルに苦しんでいます。そして、それはトンシルの喉です。彼女はつい最近医者に行ったことがあり、医者は扁桃腺を取り出すために手術をする予定です。彼は血と腸からの悪い血を見ます。そして、あなたは英語を話します。あなたはここから離れているところです。あなたは北から来ました、南から来ました。そして、あなたはドイツから来ました...ドイツ。あなたは電車で来ます。あなたは今夜戻らなければなりません。

そして、あなたは癌を患っている祖母を連れてきました。そして、あなたは彼女が癒されることを望みま

す。それは本当です。それが本当なら、手を挙げてください。祖母に手を置いてください。「こうして聖霊はこう言われます。『あなたは家に帰って元気になります。』」愛する妹、あなたを祝福します。主イエス・キリストの御名によって、行って元気になってください。アーメン。人々に素晴らしいことを伝え、喜び、幸せになりましょう。

今、心から信じていますか？ 敬虔になりなさい。彼女は私の前に立っている女性は私には見知らぬ人です。私は私の人生であなたに会ったことがありません。私たちは見知らぬ人です。私たちは同じ言語さえ話しません、あなたは信者です。あなたの精神は大歓迎です。もし私があなたに奇妙なら、手を挙げてください。あなたは主イエスが死からよみがえられたと信じていますか、そしてあなたはそれがあなたが今感じている彼、あなたがいる彼の存在であると信じていますか？

26 イエスが私が今立っている場所にここに立っていて、あなたが癒しを求めたとしたら、彼はすでにカルバリーでそれをしたので、あなたを癒すことはできませんでした。しかし、彼はあなたの何が悪いのか、またはあなたの信仰を高めるための何かをあなたに話すことができたので、あなたは彼を信じるでしょう。それは真実ですか？ 手を挙げてください。今私と一緒にいるイエス・キリストが教えてくれるなら...あなたの問題が何であるかを私に知らせてください、あなたは彼をあなたの癒し手として受け入れますか？

私はあなたと私の間で、女性が私から戻ると、何かが出血し、血が流れているのがわかります。そして、それは腸内で出血しています。あなたはそれを2年間持っていました。そうです。あなたは今あなたの癒しを受け入れますか？ もしあなたが何であるかを私に伝えるために何かがあるなら...イエスは言われました、「これらのしるしは信じる者に従うでしょう。彼らが病人に手を置いた場合、彼らは回復するでしょう。」全能の神よ、今憐れんでください。そして、私はイエス・キリストの名において、この女性に主イエスの癒しの美徳を宣言します。アーメン。神はあなたを祝福します。主があなたを祝福してくださいますように。

信じますか？ 敬虔な皆さん、お願いします。動かないでください。それは霊的なものです、私の友人。そして、私はそれを霊によってしか知る方法がありません。私はただ弱っています。私はあなたの兄弟としてここに来ます。私はあなたを助けるために来ます。今私を助けてください。敬虔になりなさい。

27 私たちはお互いにまったくの他人ですね。

もしそうであれば、手を挙げてください。

私はあなたのことを一度も見たことがありません。

私の方を見て、そして信じてください。

もし神が、あなたがここに来られた理由を私に教えてくださるなら――

あなたは主イエスを信じ、その言葉が主からの助けとして与えられたものだと思いませんか？

あなたはこの国の住人ではありません。

あなたはドイツから来られましたね。

今夜、戻らなければなりません。

あなたは心臓に問題を抱えておられます――

そして……私は、あなたがベッドから起き上がろうとする姿が見えますが、体がこわばっている。

あなたを悩ませているのはリウマチです。

私が神の預言者として語っていることを信じますか？

それを信じるなら、手を挙げてください。

今、足を上げて、下ろしてください。

あなたのリウマチは、去りました。

あなたは癒されたのです。

あなたの信仰が、あなたを癒したのです。

あなたの国に帰りなさい——喜びながら、神があなたにしてくださったことを証しなさい。

神の祝福がありますように。

信仰を持ちなさい。敬虔でいてください。

——ちょっと待ってください。

聖霊が、私から離れ、今、会衆の中へと向かわれました。

28 私を見ている女性がいます。彼女は大きな帽子をかぶっています。彼女の真上にその光がぶら下がっています。彼女は神が彼女を癒してくれるように祈っています。そして、彼女は心臓の問題を抱えており、関節炎を患っています。女性はそこに座って祈って、私を見えています。それが真実なら、立ち上がってください。あなたは癒されます。あなたの信仰があなたを完全にしました。

あなたの隣、あなたの隣、あなたの隣に座っているその男に手を置いてください。ほんの少し前に、それが女性にあったとき、奇妙な感覚があなたにやって来ました。そうじゃないですか？手を挙げてください。あなたは背中トラブルに苦しんでいます。そうじゃないですか？手を上げて手を振ってください。あなたは癒されます。あなたの信仰はあなたを完全にします。行って元気になってください。

「主を賛美しなさい」と言いましょ。ああ、なんて素晴らしい！このように見て、信じてください。ここにいる必要はありません。キリストはここにいます。それは、女性が彼の衣服に触れたようにそれらの人々が持っていたのと同じ信仰です。このように見て、主イエスの御名によって信じてください。私たちの主にとってあまりにも素晴らしいことは何もありません。彼はあなた方全員を癒します。信じなさい。

29 さて、その女性と話してもいいですか？私たちはお互いに奇妙です。あなたは心から信じますか？もしそうなら、手を挙げてください。聴衆にとって、この女性は私には奇妙です。神がその女性が何のためにここにいるのかを明らかにするなら、それを何でもさせてください。神が彼女の問題が何であるかを私に知らせてくれるなら、あなたはそれを受け入れ、イエス・キリストが死からよみがえり、彼と同じことをしていると信じますか？彼がこの地上にいたときにしましたか？もしそうなら、「アーメン」と言ってください。彼がこの女性のために何をするかは、彼があなた方全員のために何をするかです。それは何も奇妙なことではありません。それは神の賜物です。

彼は部屋で世界の一部で何が起きているのかを私に話します。私は40歳で過去です、そして彼は一度も私に完全に真実であったこと以外何も言わなかったのです。あなたは私の街、または私が行ったことのある場所に手紙を書くかもしれません。それは神であり、あなたの兄弟ではありません。

30 これらのストレッチャーでここにいるすべての人は今、このように見えます。心から信じて、神に言いなさい。「神よ、もしそれがあなたなら、私はそれを信じます。それならその人に向きを変えて私に言わせてください。そして、彼が私に言ったこと、私はあなたを信じます。」今ただ信仰を持ってください。

その女性は私から遠ざかっているようです。それはビジョンです、私はある種の場所で彼女を見えています。それは中にあるように見えます...彼女の周りに男性がいます...それは医者であり、彼らは...彼女は...病院です...そして胃を...胃の中に入れましたそしてそれは癌です。そして彼は言います...医者はあなたを家に送りました。そして彼はあなたが生きることができず、あなたは癌で死ぬだろうと言っています。あなたはたった6週間退院しました。それは本当です。手を挙げてください。

31 さて、それは私の声ではありませんでした。今、それは私の声です。しかし、彼が言ったことは本当でしたか？そして、もし彼が何であったかを知っているなら、彼は何になるかを知っています。信じますか？

ああ、神よ、命の著者であり、すべての良い贈り物[不明確な言葉]の贈り主です。私は彼女を拘束しているこの癌の死の力[不明確な言葉]を非難しているからです。イエス・キリストの名において[不明確な言葉]女性から[不明確な言葉]そして彼女を癒してください。喜んで行きなさい。神はあなたを元気にしてくれます。信じますか？信仰を持ちなさい。あなたは素晴らしいものを見るでしょう。

さて、その女性。いいえ、私は彼女の心を読んでいません。それを考えるのをやめなさい。それを考えるのをやめなさい、ほら。レディ、私に前に来てください。私の手を置いてください。私はあなたの顔を見て

いません。しかし、私たちの祝福された天の父があなたの問題が何であるかをここで私に示すならば、あなたはあなたの癒しを受け入れますか？ よろしければ、手を挙げてください。女性がテーブルから移動しているのが見えます。それは彼女の胃の中にあります。胃のトラブル。そうです。その女性は神経質な女性です。彼女は胃の底に消化性潰瘍があり、それが彼女の食べ物を怒らせ、口の中で酸っぱくなっています。彼女はとても緊張している人で、いつも物を落としたり、そのようにしたりしています。それは本当ですか？ もしそうなら手を振ってください。さあ、家に帰って夕食を食べましょう。イエス・キリストがあなたを癒してくださいました。

32 「主を賛美しなさい」と言いましょう。

あなたが来るとき、あなたは信じますか？ 神があなたの心の問題を癒してくれると信じていますか？ 信じますか？ あなたの道に行きなさい。あなたの信仰があなたを...あなたを完全なものにしました。

信仰を持って来なさい、レディ。敬虔になりなさい。誰も[不明確な言葉]をしてはいけません。彼らは私をプラットホームから連れて行ってくれるでしょう。敬虔になりなさい。あなたは神があなたが受けた腫瘍を癒してくれると信じていますか？ 手を挙げて彼を受け入れ、[不明確な言葉]彼らを連れて行きなさい、兄弟たち、来てください。私は弱くなってきました。

あなたは神があなたの背中の腎臓の問題を癒してくれると信じていますか？ それから行って、喜んでください。神はあなたを祝福します。

あなたは神があなたの心の問題を癒してくれると信じていますか？ 行って、喜んで。心から信じてください。アーメン。

33 聴衆の中にいると信じますか？ このように見てください。白い帽子をかぶったあの女性はそこで何をしているのですか？ あなたが立っていると、女性の上に主の天使が見えます。邪魔にならないように、ミスター、一歩下がってください。聖霊が語っています。ちょっと待ってください。彼女に待つように言いなさい。それはもう一人の女性、赤ん坊を腕に抱えている女性にあります。はい。私が神の預言者であると信じますか？ もしそうなら、手を挙げてください。あなたの赤ちゃんは脳の状態に苦しんでいます。そうですか？ 手を挙げてください。正しければ手を挙げてください。赤ちゃんに手を置いて信じれば、元気になります。信じられるだけなら！ 信じますか？

34 この担架に横たわっている女性、どう思いますか？ 私が神の預言者であると信じますか？ 彼は[不明瞭な言葉]です。はい。あなたはそこに横たわって祈っています。そして、あなたは私にあなたに話させてくれるように神に頼みました。そうですか？ 手を挙げてください。神様があなたの悩みを教えてくださいな、預言者として私に従いますか？ それは虚脱した肺です。

[テープの空白部分。]そうです。私が彼の預言者であると信じますか？ それから、神の御子イエス・キリストの名において、あなたのベッドを取り、家に帰ってください。さあ。

残りの人は信じますか？ すべての人が立ち上がる。神よ、この人々にあなたの祝福を送り、すべての人を癒してください。彼らが場所から立ち上がって、あなたの聖なる御子イエスを通して元気になりますように。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7